

北前船で栄えた 石畳の港町

あおいだたみどおり

青石畳通り

平成18年度認定 / 島根県松江市 / 美保関青石畳通り活性化委員会

えびすさまの総本宮「美保神社」に伝わる神事。

島根半島の東端にある「美保関」は、「美保造り」と呼ばれる珍しい造りの「美保神社」(国指定重要文化財)の門前町です。歴史は古く、出雲神話にまでさかのぼります。美保神社では、「古事記」や「日本書紀」に記された国譲り神話にちなむ「諸手船神事」(12月3日)と「青柴垣神事」(4月7日)が600年にわたってとり行われています。

明治時代以降、えびすさまの総本宮として崇められ、全国から参拝客が訪れます。

門前町としてだけではなく、古くから漁業とともに風待ちの港として栄え、隠岐や北陸などの国内をはじめ、朝鮮半島、中国大陸の寄港地として賑わいました。嘉永3(1850)年には42軒もの廻船問屋がありました。



風情ある青石畳通りの入口

時代を経て
なおも美しい
青石畳の道。



「美保造り」といわれる独特の造りを持つ美保神社



多くの文化人も訪れた「美保館本館」は、国登録有形文化財(見学可能：有料)

江戸時代後期に、積み荷を運ぶために海中から切り出した青石や北前船にバラストとして積まれていた越前の「笏谷石」などを敷き詰めたのが「青石畳通り」です。幅はわずか3メートル。現代人からみると狭い道幅ですが、完成に100年もかかったと言われています。固くて、濡れても滑りにくい青石畳は、長い年月を経た今もその美しさは失われていません。水を吸って、いっそうつややかに



似顔絵入りの歌碑が何とも楽しい

青みを帯びる青石、その大小の組み合わせもみとれるほど見事です。ここを訪れた文人墨客たちも歩いた江戸時代の舗装道路は表情豊かです。先人の技と美意識に感服するばかりです。

通りに面した家々には船具などが飾られ、屋号や歴史を記した説明板が…。「美保関資料館」では海の玄関口として栄えた港の様子や豪商の繁栄ぶりを知ることができます。干物が揺れるみやげ物店や香ばしい香りの漂う醤油蔵、風情ある数寄屋造りの旅館などを見ながら、青石畳の道の感触を楽しんでください。

北前船の宿場町の面影を伝えるため古民家を活かしたまちづくりをしています。



まちかどギャラリー開催の様子

美保神社の門前町としての賑わいを青石畳通りに取り戻そうと十数年前から活動しています。平成12年の活性化事業では、文豪が立ち寄った老舗旅館のスペースを「まちかど文化館」として利用し、美保関を題材にした文学を紹介しました。平成23年には東日本大震災復興支援事業として、北前船「みちのく丸」を迎え、青石畳通り沿いの古民家を活用したまちかどギャラリーのイベントを開催しました。青石畳通りは文学の薫りが漂う、北前船の宿場町の面影を色濃く残すところです。かつての面影を残しながら古民家を活かした体験型宿泊施設や店舗としての活用を広げています。

街道の詳細は・・・

(一社)松江観光協会美保関町支部HP <http://www.mihonoseki-kankou.jp/>



※1～3は平成29年8月23日付で「松江市登録歴史的建造物」に登録されました。
木綿街道 P41 本庄まで約20km
境往来 P29

- ① 佛谷寺
- ② 円浄寺
- ③ 北國醤油
- ④ 入来舎
- ⑤ 太鼓醤油
- ⑥ 美保関資料館
- ⑦ 朝日館
- ⑧ 明神館
- ⑨ 美保館
- ⑩ 美保館本館
- ⑪ 福間館
- ⑫ 美保神社
- ⑬ 東光ホテル
- ⑭ 宝寿寺
- ⑮ 美保関文化交流館
- ⑯ 弁財天
- ⑰ 常夜燈
- ⑱ ニューえびす大観
- ⑲ 橋津屋
- ⑳ 小泉八雲記念公園
- ㉑ 北前船の宿・浜倉舎

- ① 三代家住宅主屋
- ② 定秀家住宅
- ③ 濱延舎(旧濱中屋)



交通
 美保関文化交流館まで
 米子ICから車で約45分
 松江JCTから車で約45分
 JR境港駅から約11.3Km

お問い合わせ
 (一社)松江観光協会美保関町支部
 ☎0852-73-9001

美保大明神のお告げで
 干ばつから町民を救った
 「おかげの井戸」



漁師たちの利用する通路
 「あまのみち」



家々には屋号と
 商いについて説明板があります。

ぶらり歩いてみよう

美保神社

⑫ 全国のえびす社の総本宮

絵馬は鯛が
 稲穂をくわえています。

青石畳通り

⑪～⑦ 及び ①

多くの文化人が訪れた風情ある旅館や
 歴史的家屋が並んでいます。

佛谷寺

① 八百屋お七の恋人 吉三の墓

美保関資料館

⑥ 美保関の歴史を紹介しています。

常夜燈

⑰

美保関を訪れた文人の
 作品を紹介している看板

夜のライトアップされた
 通りも素敵です。
 (9～11月週末)

橋津屋

⑲

マンホールはえびすさまに
 ちなんだ鯛の絵柄

新旧が融合した
 古民家再生の新しいカタチ

橋津家は、江戸末期の美保関独特とされる建築様式を残し、現代の建築・技術を融合しています。自然環境の共生や省エネといったエコにも配慮することにより、長寿命で地球にやさしい「ハイブリッドな古民家」として生まれ変わりました。「海辺の体験モデル施設」として利用できます。

イベント・活動

4月7日
 青柴垣神事

えびすさまで知られる事代主命(ことしろぬしのみこと)が国譲り承諾の後、自ら海中に青い柴垣を作ってお隠れになったという故事にちなんでいます。

12月3日
 諸手船神事

美保神社の青柴垣(あおふしがき)神事とともに「古事記」などが記す事代主命の国譲り神話に関係した神事です。

本庄
 弁慶伝説の里
 鳥根県松江市
 野原町401-8
 TEL 0852-34-1528

オススメ周辺情報

- 関の五本松公園
- 美保関灯台
- 加賀の潜戸
- 松江城・松江 堀川めぐり

**みんなが集まる
 交流施設**

入来舎

手作りのお惣菜、お菓子会では、特産品も開発中!

④

地元のおかあさん方が立ち上げた「つわぶきの会」が運営しています。お米で造った特産品の「かた菓子」や、珈琲・紅茶もいただけます。佛谷寺のガイドもここでOKです。(水・土・日・祝営業)